

ひょうご

子ども未来通信5月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

平成23年度第1回 県市町懇話会

安心こども基金を活用した子育て支援推進を市町・県協働で

知事及び県内の全市町長が一堂に会し、幅広く意見交換を行う「県市町懇話会」が4月14日、県公館で開催されました。

冒頭、井戸知事は、「震災が起こり、市町の皆さんと共に支援を行っている。23年度は大変厳しい幕開けとなったが、皆で力を合わせ頑張っていきたい」とあいさつ。

あわせて県から、子どもの入院医療費助成に加えて小学4年～6年生までの通院医療費助成が今年10月から全市町で実施されることへの謝意とともに、安心こども基金を活用した一層の保育所の新設・増改築や認定こども園の整備、出会いサポートセンター「ひょうご縁結びプロジェクト」などを説明。その後、活発な議論が行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会を開催

県の少子対策・子育て支援の推進母体で、関係団体代表者等が集う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」(会長:森茂起教授)が3月28日県公館で開催されました。



冒頭、金澤副知事のあいさつの後、今年2月に発表した「新ひょうご子ども未来プランプログラム 2011」等について意見が交わされました。

委員からは、「出産・育児の経験を次世代に伝えることのできる仕掛けが必要」「このようなプランが、タイムリーに県民に伝わっていくシステムが必要」など活発な意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

日本助産師会兵庫県支部 県公衆浴場業生活衛生同業組合 が県と子育て応援協定を締結

県と企業等が協働して子育て家庭支援に取り組む「子育て応援協定」について、日本助産師会兵庫県支部との締結式が4月15日、開催されました。同助産師会の小坂支部長は「誰もが安心して出産、子育てができるよう力を注ぎたい」と、地域に根ざした取組を進めることを表明されました。



協定書を交わす小坂支部長と清原理事

また、県公衆浴場業生活衛生同業組合との締結式が25日に開催されました。同公衆浴場業組合の月山理事長は「地域住民のコミュニケーションの場である公衆浴場の特性を活かしたい」と



協定書を交わす月山理事長と久保部長

して「子ども“浴育”事業」など団体を挙げて支援に取り組むことを表明されました。

今回の協定締結により締結企業・団体は884社31団体となりました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

県と市町が協働して少子対策・子育て支援を推進していくことを目的とした会議が4月20日神戸市内で開催され、県、市町の関係者ら約120名が参加しました。

市町の事例発表等に行きわたったグループ発表では、安心こども基金について「単年度実施という制約があるが、非常にありがたい事業であり、積極的に活用したい」といった声や、「ファミリーサポートセンターの病児・病後児預かりは利用者の立場からは大変有効な取組」といった意見が出されました。



【市町の取組事例】

＜姫路市＞

市役所庁舎内での乳幼児の一時預かりを実施。乳幼児連れの来庁者が安心して手続きや相談などが行えるようになった。



＜西宮市＞

ファミリーサポートセンターでの病児預かりを23年4月から開始。予想以上の反響で、病児を預かることのできる会員の確保に向けた取組を進める。



また安心こども基金を活用し、父親の妊婦・沐浴体験を実施。妊婦への理解を深めてもらっている。



＜明石市＞

児童委員、主任児童委員が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問。児童委員等が訪問することで、家庭からは地域とつながりができたとの感想も。



＜太子町＞

妊婦と先輩ママ・赤ちゃんとの交流会や沐浴指導、父親への妊婦体験等の両親教室を開催。新米パパママが自信を持って子育てできるよう支援。



＜篠山市＞

出会い支援事業として、結婚相談室「輪～りんぐ～」を21年度から実施。交流会、パーティ、集団お見合いなどを開催。22年度5組が成婚。23年度もすでに1組成婚の見込み。



（問）県少子対策課 078-362-4183

在宅重症心身障害児のショートステイを介護老人保健施設で始めます

在宅で生活されている重症心身障害児の方が、家族の病気や冠婚葬祭など必要な時に、施設に短期間入所するショートステイサービスを一部の介護老人保健施設で利用できるようになりました。

利用を希望される方は、次の施設にご相談のうえ、お住まいの市町の障害福祉担当課にお問い合わせください。

今後も、身近なところで利用できるよう、引き続きショートステイサービスを充実していきます。



利用可能な介護老人保健施設

名 称	所 在 地	連 絡 先
介護老人保健施設しおさきヴィラ	姫路市大塩町汐咲1-25	079-254-5767
老人保健施設ハイマート	相生市若狭野町若狭野235-24	0791-28-1735
公立八鹿病院老人保健施設	養父市八鹿町下網場413	079-662-2355
老人保健施設咲楽荘	篠山市東吹967-1	079-590-2121
介護老人保健施設サンライズ (23.7.1以降利用可)	加古郡稲美町国安1237	079-496-5211

（問）県障害福祉課 078-362-9497

助成金のご案内 ～ぜひご利用ください～

子育て元気アップ活動助成金

地域団体やNPOなどが地域の实情にあわせて取り組む子育て支援事業に対して、経費の一部を助成します。募集は5月20日（金）まで。

- 助成団体数：50団体程度
- 助成金額：1団体あたり20万円限度
- 助成対象事業：親学習などの子育て支援講座の開催、児童虐待防止等のセーフティネットに関する事業、子育て相談事業、子育て支援イベントの開催等

(問)県少子対策課 078-362-4185

子育てほっとステーション設置助成金

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場として「子育てほっとステーション」を設置しようとする団体に対し、その整備費・運営費を助成します。募集は6月15日（水）まで。

- 対象：県内の商店街・小売市場団体、NPO法人等
- 設置場所：商店街・小売市場の空き店舗、ショッピングセンターの空きスペース
- 助成金額：1団体あたり150万円を限度

(問)県少子対策課 078-362-4185

参加者募集

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」。

5月下旬から12月中旬にかけて、県内大学・短期大学で多様なテーマの講座を開催します。講座修了者には、知事名による「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。ぜひご参加ください。

(問) 県少子対策課
078-362-4185



5月に申し込み可能な講座

● 園田学園女子大学 そのだ流子育て講座

講師 河合利光 教授
「世界の子育て・日本の子育て」
など 全5回

- ◆開催日：5/30(月)、6/6(月)、6/13(月)、6/20(月)、6/27(月)
- ◆募集期間：～5/23(月)
- ◆問合せ・申込：06-6429-9908
- ◆募集人員：40名(先着順)

● 神戸松蔭女子学院大学 子育て・子育て支援学講座

講師 寺見陽子 教授
「子育て・子育ての今日的課題と支援の展開」
など 全6回

- ◆開催日：6/4(土)、6/18(土)、7/2(土)
- ◆募集期間：5/9(月)～5/27(金)
- ◆問合せ・申込：078-882-6159
- ◆募集人員：30名(先着順)

● 兵庫県立大学(地域ケア開発研究所) 子育てのあれこれ

講師 山本あい子 所長
「私の子育て自慢」
(参加者による子育て成功例)
など 全3回

- ◆開催日：6/18(土)、7/9(土)、7/30(土)
- ◆募集期間：5/10(月)～
- ◆問合せ・申込：078-925-9607
- ◆募集人員：30名(先着順)

多世代で体験 ～あそぶ・つくる・かんじる～

5/5(祝)こどもフェスティバルを開催します！

県立こどもの館では「こどもの日」に、積み木やこいのぼり・かぶと工作など家族で参加できる行事を実施します。(参加無料)

◇日時：平成23年5月5日(木・祝) 10:00～16:30
◇場所：県立こどもの館 全館
(姫路市太市中915-49)

◇内容：5000個の積み木であそぼう、わくわく劇あそび、こいのぼりやかぶとなどの工作など

◇問合せ：県立こどもの館
079-267-1153



「地域子育て支援にかかわる大学間連絡協議会」 6/11(土)設立シンポジウムを開催します

県内の大学が連携して地域の子育て支援に貢献するための協議会の設立に伴い、その記念シンポジウムが開催されます。(参加無料)

◇日時：平成23年6月11日(土) 13:30～
◇場所：ラッセホール ローズサルーン
(神戸市中央区中山手通4-10-8)

◇内容：基調講演(神戸大学・伊藤篤氏)
「大学との協働による子育ての推進(仮題)」
各大学によるパネルディスカッション等

◇申込：大学間連絡協議会事務局(FAX 078-803-7971)
(申込時に、お名前・ご所属・ご連絡先を記載ください)
E-mail: yukano-teramura@stu.kobe-u.ac.jp

ご存じですか？ マザーズハローワーク三宮



JR 三ノ宮駅前のビル1階にある「マザーズハローワーク三宮」では、就職を希望する女性や子育て中の方に個々の希望やニーズに応じたきめ細やかな相談を行っています。

ベビーカーを押したまま入れる、ゆったりとしたスペースには、キッズルームや授乳室が備えられており、子ども連れでも求人検索や職業相談を気軽に行うことができます。

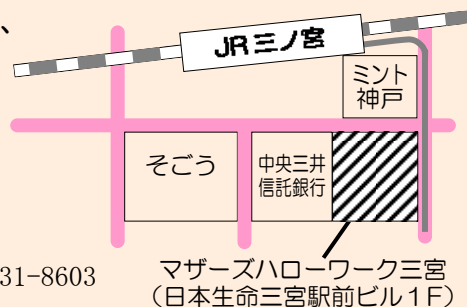
キャリアカウンセリングは予約・担当者制で、じっくりとアドバイスが受けられる他、パソコン講習会や就職活動に役立つ各種セミナーも開催しています。

また、尼崎、西宮、加古川、姫路、豊岡の各ハローワークでも、キッズルームを備えたマザーズコーナーが開設されていますので、ぜひご利用ください。



<マザーズハローワーク三宮>
平日：10:00～19:00
第2・4土曜：10:00～17:00

(問) マザーズハローワーク三宮 078-231-8603



マザーズハローワーク三宮
(日本生命三宮駅前ビル1F)

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

子育てほっとステーション「ひまわり」(明石市)

JR 西明石駅前の西明石南商店街にある子育てほっとステーション「ひまわり」は、地域の子育て支援者が連携して運営しており、おしゃべりしたり、遊んだりして、ママたちがくつろげるスペースを提供しています。

施設には授乳室や給湯設備が整備されているほか、定期的に、ふれあい遊び、育児相談、美容・健康相談、親子サークルなどの各種子育て支援事業が行われています。

開設日時は月曜日から金曜日(祝祭日、振替休日除く)の10時～11時30分です。

ぜひご利用ください。



(問) 花園ファミリーサポートクラブ 078-923-3572

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

株式会社リー (西宮市)

(代表者: 眞城照史 事業内容: 美容業)

同社では、多くの美容師が出産・育児を理由に退職するという実情と、職場にも保育施設があればというスタッフの声にこたえるため、平成23年2月に事業所内保育施設「フェアリー保育所」を開設しました。

働きながらの子育てには、職場をはじめ周囲の人の理解と協力が不可欠です。同社では、子育て中のスタッフを職場全体で応援しています。JR西宮駅前の新店舗に併設された保育所では、アットホームな雰囲気の中で保育が行われており、施設を利用するスタッフから大変好評を得ています。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

